

星城大学後援会会報

2010
第9号

平成23年3月3日発行

〒476-8588
愛知県東海市富貴ノ台二丁目172番地
Tel.052-601-6000



CONTENTS

会長・学長あいさつ	1	留学生報告	6
平成22年度後援会総会、平成21年度決算書、 平成22年度予算書、平成22年度役員名簿	2	「自分づくりセンター」報告	7
平成22年度父母教育懇談会	3	就職支援報告	8
学生表彰	4	部活動報告	9
平成21年度後援会事業報告、平成22年度事業計画、 平成22年度教職員・学生在籍数	5	学生会報告	10



<http://www.seijoh-u.ac.jp>

■会長あいさつ

ご家庭と大学の懸け橋に

星城大学後援会 会長 山部 英二

去る6月5日(土)の「平成22年度 星城大学後援会総会」におきまして、これまでご尽力された小島吉徳会長の後任として、各会員の承認を得て、会長をつとめさせていただくことになりました山部英二でございます。会員である保護者の皆様には、日頃から後援会活動の運営にご理解とご協力賜わりまして、誠にありがとうございます。



星城大学開学から発足した後援会も早いもので9年目を迎えます。小規模ではありますが、着実に進化を続けております。4月にリニューアルしました「自分づくりセンター」は、後援会の主要行事であります6月の父母教育懇談会の学内見学におきまして、見学者の方々から高い評価をいただくことができました。

また、活動支援をしておりますクラブの中には、リーグ戦にて好成績を残しました女子バレーボールをはじめ、多くのクラブが輝かしい実績をあげてくれました。

今後も学生とご家庭、大学を結び、さらなる魅力のある大学づくりのために活動して参りたいと思っておりますので会員の皆様からのご理解とご協力、また時に応じて叱咤激励の声をいただけますようお願い申し上げます。

終わりにりましたが、皆様方のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

■学長あいさつ

学生、地域が元気になる大学へ

星城大学 学長 水野 豊

開学9年目を迎えた星城大学では、学生の学修支援、学生生活支援、キャリア支援を一体的に行う「自分づくりセンター」の活動拠点となるフロアが本館1階に整備されました。明るく、開放的なセンターフロアは学生に大変好評で、きめ細かい面接の実施など「学生に語りかけるサポート」をモットーに活動を展開し、着実な成果を上げてきていると感じています。



一方、就職戦線は、昨年度に引き続き実に厳しい状況が続いています。来年度も明るい兆しは期待できない社会的環境が予想されています。大学としては、就職を目指し苦闘する学生を最後の最後まで支え、励まし、社会人としてより良いスタートが切れるよう、一層努力してまいります。

学園創立70周年、大学開学10年目を迎える平成23年度は、「元気創造」、「地域貢献」、「自分づくり」を旗印に教育研究を展開し、学生が元気になる大学、地域が元気になる大学を目指して全教職員力を合わせてまいりますので、保護者の皆様のご理解とご支援・ご協力をお願い申し上げます。

平成22年度 星城大学後援会総会開催 新会長に山部英二氏を選出！



平成22年6月5日(土曜日)午前9時45分から、4号館4401教室におきまして「平成22年度 星城大学後援会役員会」が開催されました。次いで、午前10時30分から、4号館4301教室におきまして「平成22年度 星城大学後援会総会」開催されました。当日は天候にも恵まれ、当初、申込のありましたほとんどの会員の皆様が出席され、会場はほぼ満席となる状況でした。

本総会は、会長の開会挨拶の後、議事に入りました。議事では、第1号議案「平成21年度事業報告」、第2号議案「平成21年度決算報告」、第3号議案「平成22年度役員改選」、第4号議案「平成22年度事業計画(案)および予算(案)」について、それぞれ審議が行われ、上程議案はすべての原案の

とおり承認されました。

星城大学の教学方針に則り、本学の主役である学生の成長と大学発展とに貢献し、併せて地域社会との協力関係の促進に寄与することを目的(会則第3条)として、山部新会長以下、副会長6名、評議員16名、監事2名、顧問3名、相談役3名の計31名の組織により、平成22年度星城大学後援会がスタートいたしました。

星城大学後援会は、平成22年度事業計画(案)にありますように、奨学関係事業、教育関係事業の支援を中心に、引き続き、「社会貢献をめざして自分をつくる」大学の実現に向けて役員一同一丸となり任務を果たして参りたいと思います。

21年度決算書

一般会計 自平成21年4月1日～至平成22年3月31日 (単位:円)

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
会費収入	13,900,000	奨学関係 奨学関係事業	2,500,000
雑収入	0	クラブ活動支援	2,430,560
預金利息	2,659	就職活動支援	135,340
前年度繰越金	1,846,825	学生会活動支援	508,970
		留学生支援	280,000
		学内整備支援	667,500
		教育行事支援	1,616,750
		学生表彰	135,700
		食堂運営支援	47,040
		積立金 今年度周年事業積立金	1,000,000
		後援会報印刷費	315,560
		総会資料印刷費	57,124
		消耗品費	80,105
		郵送費	138,742
		総会費	35,857
		会合費	0
		父母教育懇談会費	511,020
		その他	161,390
		次年度繰越金	5,127,826
合計	15,749,484	合計	15,749,484
特別会計	奨学金関係積立金(明德奨学金)	3,043,107	
	周年事業積立金	7,016,446	

平成22年5月22日 上記監査の結果相違ありません。
星城大学後援会 監事/鈴木 淳志 監事/秋田 政利

平成22年度 星城大学後援会 役員名簿

職名	氏名	学部	前職
会長	山部 英二	(経営学部2)	新任 経営学部
副会長	加藤 幸生	(リハ作業4)	作業専攻
	後藤 章仁	(リハ作業4)	作業専攻
	尾崎 克巳	(リハ作業4)	理学専攻
	赤坂 浩二	(リハ作業3)	作業専攻
	蜂谷 裕道	(リハ理学4)	評議員 理学専攻
	石田 直城	学園法人本部長	学園法人本部長
評議員	浅野 幸吉	(経営学部4)	経営学部
	吉田 均	(経営学部3)	経営学部
	江坂 文孝	(経営学部3)	経営学部
	神野 和弘	(経営学部3)	経営学部
	葛谷 吉弘	(経営学部3)	経営学部
	中村 信吾	(リハ理学3)	理学専攻
	魚住 尚利	(リハ作業2)	作業専攻
	竹内 康雄	(経営学部1)	経営学部
	鎌谷 幸彦	(リハ理学1)	理学専攻

22年度予算書

一般会計 自平成22年4月1日～至平成23年3月31日 (単位:円)

収入の部合計		金額
収入の部合計		18,130,826
会費収入		13,000,000
利息収入等		3,000
前年度繰越金		5,127,826
支出の部合計		金額
支出の部合計		18,130,826
奨学関係事業		2,500,000
教育関係事業 小計		9,450,000
クラブ活動支援		3,600,000
就職活動支援		700,000
学生会活動支援		1,400,000
留学生支援		400,000
学内整備支援		700,000
教育行事支援		1,600,000
学生表彰		600,000
食堂運営支援		450,000
積立金 小計		1,000,000
周年事業積立		1,000,000
事務費 小計		1,930,000
後援会報印刷費		350,000
総会資料印刷費		80,000
消耗品費		100,000
郵送費		150,000
総会費		100,000
会合費		50,000
父母教育懇談会費		900,000
その他		200,000
予備費		3,250,826
特別会計	奨学金関係積立金(明德奨学金)	3,043,107
	周年事業積立金	年度末振り替え

職名	氏名	学部	前職
評議員	山中 亨浩	(経営学部1)	新任 経営学部
	竹嶋 義宏	(リハ作業1)	新任 作業専攻
	鈴木 秀	(経営学部1)	新任 経営学部
	福田 敦美	(リハ理学1)	新任 理学専攻
	横井 藤樹	(リハ理学1)	新任 理学専攻
	室 敬之	事務局長	大学事務局
	今平 靖	大学開放支援室課長	新任
監事	秋田 政利	(経営学部4)	経営学部
	鈴木 淳志	(経営学部4)	経営学部
顧問	石田 正城	学園理事長	学園理事長
	水野 豊	大学学長	新任
相談役	小島 吉徳		会長
	植松 光俊	大学院研究科長	大学院研究科長
	横山 正博	経営学部長	経営学部長
	江西 一成	リハビリテーション学部長	リハビリテーション学部長

保護者と大学とのコミュニケーションの場 星城大学後援会最大のイベント!



平成22年6月5日(土曜日)、昨年に引き続き、4号館の大講義室(4301教室)を全体会場として「平成22年度 星城大学後援会父母教育懇談会」を開催いたしました。後援会の主要行事であります、この教育懇談会は今年で7回目を数え、当日は天候にも恵まれ、申し込み者数とほぼ同数の多くの会員である保護者の皆様にご参加をいただきました。

後援会総会終了後、午前11時15分、ほぼ満席の3階の大講義室(4301教室)におきまして、本学キャリア開発委員雨宮康樹委員長から「星城大学の就職状況と就職支援体制」と題しまして現在の就職状況の説明および本学の一人ひとりへのきめ細やかな、そして豊富な本学の就職支援策について講演いただきました。

引き続き、「広告から社会がみえる～企業選びの一助として～」と題して本学経営学部宮川清教授に、広告やブランドなどのより身近なものとは本学の特色でもあります「自分づくり」とを関連づけた講演をしていただきました。普段から皆様が接している広告やブランドとお子様の「自分づくり」の話ということで、非常に熱心に聞いていただき、有意義な懇談会となりました。

その後は、希望者の方には4号館の本学食堂において、ゼミごとのテーブルに分かれ、昼食をとりながら保護者の方同士や教職員とお話を通じて、親睦を深めていただきました。食事をしながらの交流のため、皆様はとて和やかな雰囲気での昼食となりました。

午後からは、経営学部とリハビリテーション学部に分かれ、それぞれ学内見学をいたしました。経営学部は4号館やグラウンド、そして新たにリニューアルされた「自分づくりセンター」やキャリア支援課を見ていただき、それぞれ施設の用途や特徴について教

職員から説明が行われました。また、リハビリテーション学部におきましては、専門家養成を目指すリハビリテーション学部の特色でもあります、最新鋭の機器や設備が設けられている3号館を中心に見学していただき、日頃、見ることのない専門的な器具や施設に見学された皆様は、大変興味を示されていました。このような懇談会の場で教職員との接点を提供し、お子様が日々どのような環境で学んでいるのか、大学の全体を知っていただくことは小規模大学である本学ならではのものであり、懇談会を主催する後援会の存在意義があるように思われます。

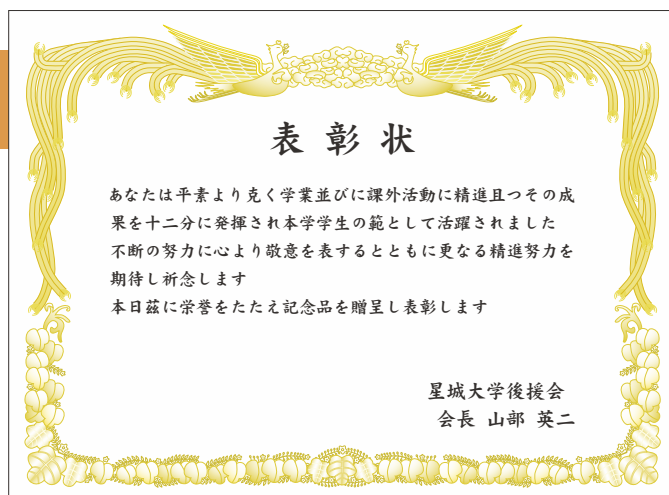
今回ご出席いただいた皆様に対しまして、父母教育懇談会のアンケートをお願いしましたところ、大多数の方々から回答をいただきました。今後も皆様のご意見・ご要望を出来る限り反映して、より良い父母教育懇談会にしていきたいと思っております。

来年度もより多くの皆様のご参加をお待ちしております。



学生表彰

成績優秀な学生や各種活動に
貢献した学生・団体を表彰!



■平成22年度表彰者(14名・1団体)

該当項目	氏名等	学部・学年	出身高校	選考理由
①成績が優秀なもの	ゆう しょう 熊 晶	経営1	外国高等学校	GPA 優秀者
	いけだ まゆ 池田 麻友	経営2	愛知県立木曾川	GPA 優秀者
	かとう よしと 加藤 美仁	経営3	星城	GPA 優秀者
	すずき まさたか 鈴木 雅貴	経営4	愛知県立岡崎東	GPA 優秀者
	ほま ゆうほ 濱 優帆	リハ理学1	日進西	GPA 優秀者
	とたに しょうへい 戸谷 奨平	リハ作業2	星城	GPA 優秀者
	やまうち あさみ 山内 麻美	リハ理学3	愛知県立横須賀	GPA 優秀者
	いしはま せいいち 石濱 誠一	リハ作業4	名古屋市立北	GPA 優秀者
②学生会活動に顕著な働きをしたもの	まつもと ゆきひろ 松本 幸大	経営3	星城	学生会実行委員会 (委員長)
	まつみや ひろゆき 松宮 弘幸	経営3	星城	学生会実行委員会 (副委員長)
	いとう ゆうすけ 伊藤 裕介	経営3	大学入学資格検定 合格者	学生会実行委員会 (副委員長)
③地域の活動に多大な貢献をしたもの	星城大学 ボランティアクラブ シグマソサエティー	代表・経営2 よこい ゆうき 横井 優樹	星城	バザー売上金寄付
④クラブ活動に顕著な働きをしたもの	やまもと しょうへい 山本 翔平 (柔道部)	経営4	星城	東海学生柔道体重別選手権大会81kg級にて2位
	のぎざわ ひろゆき 能澤 宏征 (柔道部)	経営1	星城	第6回湊谷杯全国学生柔道体重別選手権大会100kg超級にて3位
	かみの けいすけ 神野 圭祐 (弓道部)	経営1	名古屋工業	ミニ国体出場

■ 平成21年度星城大学後援会 事業報告

1 明德奨学金

成績優秀かつ経済的に困窮な学生25名を対象に、奨学金を支給

2 学生の課外活動援助

各クラブの大会への参加、および練習場所確保のための経費の一部を援助

3 学生の就職活動援助

大学主催の学生に対する就職活動支援事業のための経費の一部を援助

4 学生会活動支援

大学祭支援
 〈実施日〉平成21年10月24日(土)～25日(日)
 〈参加者数〉約2,600人

5 留学生支援

留学生と日本人学生の交流会の一部に対して援助を行った。

6 教育行事支援

父母教育懇談会の開催
 〈実施日〉平成21年6月6日(土)

〈講演〉
 経営学部
 第1部「自分づくり大学をめざして」
 学長 林 哲介
 第2部
 「世界同時不況下に企業が必要とする人材とは」
 学校法人河合塾学園 トライデント社会人教育センター
 角田 英司氏
 〈参加者数〉会員144人

7 学生表彰

学業、課外活動などで顕著な成績を残した学生および団体を表彰

8 後援会総会

〈実施日〉平成21年10月10日(土)
 〈参加者〉会員167名

9 会報の発行

「星城大学後援会会報第8号」
 平成21年12月発行

■ 平成22年度星城大学後援会 事業計画

1 明德奨学金

成績優秀かつ経済的に困窮な学生25名を対象に、奨学金を支給

2 学生の課外活動援助

各クラブの大会への参加、および練習場所確保のための経費の一部を援助

3 学生の就職活動援助

大学主催の学生に対する就職活動支援事業のための経費の一部を援助

4 学生会活動支援

〈実施予定日〉
 平成22年10月23日(土)～24日(日)

5 留学生支援

留学生と日本人学生の交流会の一部に対して援助を行った。

6 教育行事支援

父母教育懇談会の開催
 〈実施日〉平成22年6月5日(土)

〈講演〉
 第1部「星城大学の就職状況と就職支援体制」
 キャリア開発委員会
 委員長 両宮 康樹
 第2部「広告から社会がみえる～企業選びの一助として～」
 本学経営学部
 宮川 清教授

7 学生表彰

学業、課外活動などで顕著な成績を残した学生および団体を表彰

8 後援会総会

〈実施日〉平成22年6月5日(土)

9 会報の発行

「星城大学後援会会報第9号」
 平成22年発行

■ 平成22年度教職員数・学生在籍数

教職員在籍数(5月1日現在)

	常勤教員	非常勤教員	常勤職員	非常勤職員(※)	合計
合計	68	65	28	11	172

※派遣職員含む

学生在籍数(5月1日現在)

学部等	1年生			2年生			3年生			4年生			合計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
経営	170	45	215	192	48	240	175	42	217	237	58	295	774	193	967
リハビリテーション	45	54	99	39	42	81	40	40	80	61	43	104	185	179	364
健康支援学研究所	1	0	1	7	4	11	—	—	—	—	—	—	8	4	12
合計	216	99	315	238	94	332	215	82	297	298	101	399	967	376	1,343

留学生交流会報告

留学生交流会を開催！
今後も積極的な国際交流を！

留学生専門委員会 田邊 三千廣



秋季留学生交流会

平成22年10月2日（土曜日）にバス3台を貸し切り、留学生97名・教職員6名、また、学生生活や日本の文化や習慣について留学生をサポートする留学生アドバイザーの日本人学生25名の総勢128名で三重県桑市長島町浦安にあるテーマパーク「長島スパランド」にて留学生と日本人学生及び教職員の親睦を図るために留学生交流会が催されました。

留学生交流会は、留学生が中心に企画して留学生同士、留学生と日本人学生、教職員との交流の機会として、昨年も開催しています。

出発前留学生から、「いい天気よかったです。楽しできます。」留学生アドバイザーの経営・リハビリテーション学部の学生からは、「絶叫マシンが楽しみです。」など、うれしそうに話っていました。

長島スパランドは西日本有数のアトラクションの宝庫であり、「東の富士急、西のナガシマ」とも呼ばれ、地元東海地方はもちろん関東圏をはじめとする他地域からも数多く来園者の方々が来ていました。

交流会当日は、インフルエンザ等の発生も懸念されましたが晴天に恵まれ、留学生も日本人学生や教職員と笑顔で交流を楽しんでいました。また、周りの広大な自然に触れ、日本の良さをあ

らためて感じたという留学生もいました。食事も学生寮で食べることが多い留学生にとって、外での大人数での食事は母国の家族や友人たちを思い出し、非常に有意義な交流会となりました。

冬季留学生交流会

平成22年12月21日（火曜日）星城大学4号館食堂にて星城大学留学生交流クリスマス会が催されました。

教職員、留学生合わせて約100名と東海市国際交流協会及び大府市国際交流協会の会員の方々、また平洲小学校の教員の方々も参加していただき、食事とお招きした東海市交流協会の方々による出し物や、ビンゴ、演奏、ゲーム大会など、大変盛況でした。食事についてはバイキング方式で楽しく会話ははずみ、冬休みの計画などを楽しそうに話す留学生もいました。クイズゲームにおいては楽しく知識を深めることができ、非常に勉強になったという留学生もいました。

また、国際交流協会及び平洲小学校の参加いただいた方々との交流が活発に行われていました。地域市民との交際交流理解を深める意味でも大きなことであり、こうした活動をさらに来年度以降も続けるつもりです。そして、国際化の進展に積極的に対応するとともに、地域に根差した友好交流を促進していきたいと思っております。





社会貢献できる学生をつくる — “自分づくり”リポート —

▶▶▶ 星城大学自分づくりセンター

はじめに

社会貢献をめざして“自分をつくる”大学 — これは今星城大学が掲げているキーワードです。

星城大学前学長林哲介氏は、「大学生活が紡ぎだす21世紀型市民」と題して星城大学後援会会報第8号において、時代が求める人材像並びにそれを受けて星城大学が「自分づくり」を進める理念、そのために大学キャンパスの中心に「自分づくりセンター」を設置し学生の自分づくりを積極的に応援する意気込みについて述べておられます。

今号では、「自分づくり」の具体的対応の一翼を担っている学生面談について、その概要を報告します。

自分づくりの学生面談

大学卒業後、社会人としてどんな分野においても適応力を発揮して仕事をしていく「自分」であるためには、在学中に“社会人基礎力”を養っておくことが大切となります。第一は学問を通して、第二には大学生活の中の諸活動を通して身に付けていく訳ですが、その一助となるよう、学生との個別面談を位置づけ進めてきました。対象は経営学部の2年生・1年生です。学



〔パソコンでこんな作業ができますよ…〕

生の授業空き時間のうちの30分程度ですが、自分づくりセンター客員教授とキャリア支援課課長が対応します。目的は正に「自分を見つめ、目標や進路・将来を考え、自分を築いていく契機とする」ことにあります。

自分を見つめ将来を考える

面談では、学業観や生活観、職業観、時に日本や世界の動き等について語り合い、その中で学生自ら順調に進んでいる面や問題点に気づくことができるように配慮します。時には、単刀直入に問いかけを行うこともあります。例えば、

- ・「講義を5回欠席しても単位がもらえるとっていますが、実際に5回も欠席したら授業の内容が繋がらないのではないですか。」
- ・「君の生活はアルバイト中心になりかけているではありませんか。」
- ・「大学4年間で何をやりましたかと問われたとき、答えが出せますか。」

自分を築いていく

面談の成果として第一にあげられることは、2年生で83%、1年生で80%の学生と面談の機会をもつことができたことです。本学の学生は総じて素

直でいい学生です。話をすることを嫌がっていません。明るい対応ができ友好的な雰囲気をつくり出すという好印象を得ることができました。二点目には、2年生とは前期に面談したこともあって、この面談が良い刺激となったのか、前期の定期試験では6割



〔話をするうちに笑みがこぼれてきます〕

の学生がGPA(各教科の成績をポイントで置き換え計算し直した評価指数)をアップさせていました。続く後期には、意識も新たにして各授業に前向きに取り組む姿を見ることができました。

一方1年生は、明るく素直で友好的なところは同様ですが、自分の目標や将来像が描けていない学生が見受けられました。2年生の一部にもその傾向があります。面談を契機に早く目標や将来像が設定できると、大学で学ぶことの意識も明確になり、学内外の諸活動にも目が向き意欲が湧くようになるものです。

星城大に学ぶ学生一人ひとりが輝く

面談の最大のねらいは、本学学生に自信をもってもらうことに置いています。1・2年生の時期には多くの迷いがあり、目標や目的がはっきりと定められないことがあると思います。面談は一つの出会いです。一度の面談で終わりとするのではなく、自分づくりセンターへ来所の際には気軽に「今の自分」を報告したり、心境の変化を語ったりできたら良いと思います。それが、4年間を充実したものに繋げることになり、自信をもって就職活動に臨んでいけることになると思われます。

自分づくりセンターは、星城大学で学ぶ学生一人ひとりをさらに輝く方向へ導いていくところです。

(文責 榊原 誠)

就職支援活動報告

多彩な就職指導・支援プログラムを実施！



本学の自分づくりセンター内にあるキャリア支援課では、就職のための客員教授が4名配置され、毎日学生との個別相談に応じています。求人情報の提供、就職斡旋はもとより、履歴書の指導、面接時の心構え、社会人としてのマナー等々、その相談・指導内容は多岐に渡っています。

大学生の新卒就職内定率は文部科学省等の発表の通り、過去最悪の状況を呈しています。本学においてもほぼ全国平均に近い内定率で推移しておりますが、学生にとって極めて厳しい状況に変わりはありません。

その中で本学では大学改革推進補助金(学生支援推進プログラム)も活用しつつ、「学内合同企業説明会」の追加実施や「就職合宿」「筆記試験対策講座」の実施など新たな企画に取り組み、またキャリアカウンセラー増員をはかり、厳しい就職戦線に直面する学生に少しでも支援の手が差し伸べられるよう教職員一丸となって取り組んでいます。

22年度4月以降の主な行事

【経営学部4年生】

- ◆第2回学内合同企業説明会 4/21
- ◆第3回学内合同企業説明会 7/30
- ◆第4回学内合同企業説明会 9/21
- 9月になると採用継続企業が激減するため、後援会から補助を受け企業開拓、出展企業確保に当たりました。
- ◆キャリアカウンセラー増員 11/1~3/31
文科省の大学改革推進補助金の追加支援を受け、キャリアカウンセラーを増員し、現在も未内定の学生に対する就職支援を継続的に行っています。
- ◆未内定者相談会 11/15
愛知県主催の就職フェアにあわせ求人情報の提供および個別相談を実施。
- ◆福祉・介護セミナー 12/13
ハローワークの福祉人材コーナーより専門官を講師に迎え、福祉の仕事についての説明および求人情報の提供を行いました。
- ◆新卒応援プロジェクト等説明会 1/27
中小企業庁が推進する新卒応援プロジェクトおよび(株)パソナの新卒フレッシュキャリア制度について説明会を実施。
- 【リハビリテーション学部4年生】
- ◆就職対策講座(理学5月・7月、作業8月)

リハビリテーション学部ではこれまで学部教員の指導のもとに就職支援を行ってきましたが、今年度は従来に加えて、客員教授による自己紹介書・履歴書の書き方等の実践講座を新たに実施しました。なおリハビリテーション学部は開設以来就職率100%を維持しています。

◆求人説明会 10/2

17の病院・施設の採用担当者を招き、プレゼンテーションおよび個別説明会を実施しました。

【経営学部3年生】

- ◆インターンシップ案内・事前研修(5月~7月)
- ◆就職個人面談(5月~7月)
就職希望者全員を対象に客員教授との個人面談を実施。
- ◆就職対策模試 5/12
- ◆就職ガイダンス① 6/16
就職手帳配布および今後の就職活動スケジュールについて説明。
- ◆就職ガイダンス② 9/21
本学求人検索ナビ(Jネット)への進路登録を実施。
- ◆就職ガイダンス③ 10/16
「地元優良企業の見つけ方」をテーマにマイナビ、リクナビの担当者より解説。
- ◆就職筆記試験対策講座(10月~2月)
毎週木曜日17:40~19:40まで全15回実施。
- ◆コミュニケーション講座(11月~1月)
11月以降の土曜日午前中に少人数でグループ面談練習等を実施。
- ◆就職合宿 12/10・12/11
今年度新しい試みとして1泊2日の就職対策合宿を「大府健康の森」にて実施。参加学生はグループディスカッション対策など熱心に取り組みました。
- ◆キャリアサポートⅢについて
2年次後期から基礎学力向上のための講義(キャリアサポートI、II)を実施していますが、3年次後期からは「業界研究」「履歴書・エントリーシート作成」「面接演習」「時事問題対策」等就職に直結する講義を行っています。
- ◆第1回学内合同企業説明会 2/23
1週間前の2/16には参加企業について事前の説明会を実施。また、当日は参加企業(42社)の採用担当者と教員との意見交

換会も開催しました。

◆履歴書指導会(2月~3月)

授業のない時期ですが、就職試験を目前に控えた3年生を対象に、履歴書完成のための個別指導を行っています。

【経営学部2年生】

◆個人面談 5月~7月

◆就職ガイダンス 11/10

自分づくりセンター榊原客員教授による講演「今何をなすべきか」と日本経済新聞社による「新聞の読み方」講座を実施。

◆就職対策一般常識テスト 12/10

【全体】

◆父母教育懇談会 10/9

学部別を実施され、経営学部では両宮キャリア開発委員長の全体報告に続き、学年別に分科会を開催。4年生では客員教授と保護者との個別相談も実施されました。

◆企業求人依頼 12/15

地元企業約200社に星城大学経営学部の学生紹介パンフレットを送付し、24年3月卒業生対象の求人を依頼しました。

平成23年3月卒業生の内定先・進学先

【経営学部】

(株)アイカ/ (株)愛光園/ (株)アイズ・コーポレーション/ 特別養護老人ホーム愛生苑/ (株)愛知キュービック/ 愛知県警察/ 学校法人秋田学園/ アトム運輸(株)/ (株)あみやき亭/ (株)ウドベル/ エザキ(株)/ (株)エスエス産業/ (株)エディオン/ (株)エム/ (株)エム・イー・エス由良/ (株)設計機/ (株)信信用金庫/ (株) 岡島ライブ製作所/ (株)岡鈴/ (株)オンテックス/ (株)カクタ増田総本店/ (株)カジ・コーポレーション/ (株)カネエス/ (株)かわせみ工房/ (株)キナン/ (株)希望社/ 栗原産業(株)/ (株)神鋼工業/ (株)ケンキョー/ 小浜商事(株)/ (株)南交流センター/ コーナン商事(株)/ (株)サカイ/ 越センター/ 佐川急便(株)/ 三栄グラビア(株)/ (株)サンエイ/ 糖化(株)/ (株)サンライフ/ 十一屋工業(株)/ (株)シルヴァンフリーズ(立志塾)/ 新日本コーポレーション(株)/ 新日本製鐵(株)/ (株)新電電/ (株)スーパーヤマのぶ/ (株)スガキシステムズ(株)/ (株)スズノホ/ 炭焼屋/ (株)スリーエス/ 生協連合会大学生協東海事業連合(岐阜大)/ 善友金属(株)/ 大洋材(株)/ 大和冷機工業(株)/ 高瀬物産(株)/ (株)タチヤ/ 玉屋食品(株)/ (株)玉越/ 中部紙工(株)/ (株)中広/ (株)チヨダ/ 坪井利三郎商店/ (株)デンソー/ パワーテクノロジー/ (株)トウ・クレッセント/ 東海マツタ販売(株)/ (株)東名/ (株)東洋発酵/ トーエー(株)/ (株)トラベルクラフト/ (株)ナカヤクリイティブ(株)/ 名古屋エアーターニング(株)/ 名古屋製酪(株)/ (株)ナショナルヤガタ/ (株)ニッショウ/ (株)日健/ (株)日本医療事務センター/ ハッピー(株)アパマンショップ東海店/ (株)レクイエート(サングループ)/ (株)パロー/ (株)PGSホーム/ (株)ヒギン/ (株)引越社/ (株)フィールコーポレーション/ (株)西陽会/ (株)フォーバル/ (株)福寿園/ (株)フジカ/ 富士屋ホテル(株)/ (株)平成観光/ (株)ペリウッド/ (株)ほいてい/ (株)MACKコンサルタンツグループ/ (株)マリノ/ 丸三金属(株)/ 丸協青果(株)/ 丸太運輸(株)/ 丸茂工業(株)/ 三重県警察/ 三河西濃運輸(株)/ ミズ/ (株)水野病院/ (株)ミニミニ/ 富島薬品(株)/ 名豊観光(株)/ (株)トック東浦特別養護老人ホーム/ (株)山下工作所/ (株)山彦/ (株)山ノ内/ 東海/ (株)ロイヤル/ (株)ワイス通商(株)

【リハビリテーション学部】

相澤病院/ あいちリハビリテーション病院/ 赤岩病院/ 秋田病院/ あさひがおおほすピタル/ あさひ病院/ 一宮西病院/ 一宮東病院/ 井上病院/ NTT東日本伊豆病院/ 岡崎共立病院/ 岡崎東病院/ 海南病院/ 借行会リハビリテーション病院/ 神崎中央病院/ 北出病院/ 木戸病院/ 岐阜社会保険病院/ 岐阜市/ 木村病院/ 共立病院グループ(山梨)/ 公立甲斐病院/ 小林記念病院/ さくら総合病院/ 佐藤病院/ 三九郎病院/ 静岡県立病院機構/ 社会保険中京病院/ 主体会病院/ 昭和伊南総合病院/ 白浜はまゆう病院/ 香川県リハビリテーション病院/ 第一なるみ病院/ 第二成田記念病院/ 高須病院/ 千秋病院/ 知多リハビリテーション病院/ 津島市民病院/ 東海記念病院/ トヨタ記念病院/ 豊田地域医療センター/ 豊田川谷総合病院/ 西口整形外科/ 西工井島病院/ 富士病院/ 北斗病院/ 南生協病院/ 武蔵村山病院/ 村瀬病院/ 名古屋ふれあい病院/ 八千代病院/ 山田病院/ ゆうゆうの里(大学院) 和歌山県立医科大学大学院

部活動報告

女子バレーボール部秋季2部リーグ優勝！ 「自分づくりセンター」にて壮行会開催！

■ 女子バレーボール部

- ・ 春季リーグ 2部で活動し、2勝3敗で2部3位
- ・ 秋季リーグ 2部で活動し、全勝の5勝で2部優勝
1部6位の鈴鹿国際大学と入替戦の結果、惜敗し2部残留
来春1部昇格を目標に、練習を強化中



■ 硬式野球部

- ・ 春季リーグ 3部で活動し、8勝2敗で3部優勝
2部6位の名古屋産業大学と入替戦の結果、3戦3敗で3部
残留
- ・ 秋季リーグ 3部で活動し、
7勝5敗で3部3位
来春2部昇格を目標に、練
習を強化中



■ 柔道部

- ・ 団体:東海学生柔道夏季優勝大会は予選敗退で、今期全国
大会出場はならず
- ・ 個人:4年生の山本翔平君
東海学生柔道体重別選手権大会81kg級にて2位となり、全
国大会に出場
- ・ 個人:1年生の能澤宏征君
第6回湊谷杯全国学生柔道体重別選手権大会100kg超級
にて3位
来期再度全国大会出場を目指して、日々練習に励む

■ 弓道部

- ・ 個人:1年生の神野圭祐君
国民体育大会東海ブロック大会(ミニ国体)一般男子の部に
出場
来春1部昇格を目標に、練習を強化中。

■ 部活動一覧

硬式野球	ソフトテニス	柔道
バレーボール(女子)	ボランティア	フットサル
軟式野球部	機能形態	現代亜細亜研究会
バスケット(男子・女子)	ゴルフ	ストリートダンス
バドミントン	水泳	弓道
硬式テニス(男子)	剣道	陸上
サッカー	陸上	剣道

■ サークル一覧

硬式テニス	軽音	文化探索
マルチメディア	自転車	シティマラソン
漫画研究会	ハンドボール	

■ 同好会一覧

テーブルゲーム	麻雀研究会	
---------	-------	--



学生会報告

「星祭」を振り返って・・・

学生会実行委員会

第9回星城大学祭「星祭」テーマ「流星ファンタジー」が10月23日(土)、10月24日(日)に開催されました。毎年両日ともに天候に恵まれることない星祭でしたが、今年の開催1日目・2日目の終盤まで天気は上々。エンディングには天気が崩れてしまいましたが、多くの方々が雨の中最後まで星祭を見届けて下さるなど、総入場者数は約2,800人となり、大変嬉しく楽しい大学祭となりました。

昨年と同様にステージを広く設けて、どの世代の方にも楽しんでいただけるような企画を実行しました。そして、毎年恒例となっているステージバックの閉閉にも今年は初のスライドにチャレンジするなど、さまざま不安はありましたが、当日お褒めの言葉をいただき、大成功とで終わり、充実した大学祭になったと感じています。

今年の星祭りでは、イベント初の「お化け屋敷」が大変多くの人で賑わい、第10回には、よりさまざまな工夫を凝らし、みなさんに昨年にも増して楽しんでもらいたいと活動に力が入ります。

また総踊りでは、年齢層を問わず多くの方が参加し、特に本学の学生参加数が昨年より多かったこともあり、今までにない盛り上がりとなりました。みなさんとても生き生きとしてとても嬉しかったです!!

ステージ/模擬店/こども広場など、たくさんの笑顔や笑い声が舞い、星祭を通してたくさんのお会い/物語が私たちの目指した「流星ファンタジー」を成功へ導いてくれました。私たちにとってもお客さんにとってもすばらしく、心に残る星祭になったと学生会実行委員会一同は、心から感謝しております。



総踊り

来年は記念すべき第10回「星祭」。皆さんに昨年よりもより一層楽しんでいただけるよう、また日ごろお世話になっている方々へ感謝の気持ちをこめて、学生会実行委員全員が一体となって活動していきたいと思っています。最後に、今回の「星祭」で、この気持ちが伝わっていたら、とても嬉しいです。第10回「星祭」も頑張ります。ご声援よろしくお願いします。



プラスシティ
Live



エンディング

「星城大学星祭」スナップショット 2010

